

表1 佐伯湾赤潮プランクトン調査結果(H30.6.14)

単位:細胞数/cc

採集地点	調査時間	水深 (m)	水温 (°C)	塩分 (PSU)	DO (mg/l)	シャットネラ spp.	カレニア ・ミキモイ	ヘテロシグマ ・アカシオ	コクロデニウム ホリウイコイデス
1.長田沖 アクアファーム	11:07	0	20.7	34.17	7.9	0	0	0	0
		8.2	19.9	34.23	7.7	0	19	0	0
2.塩内~片白島	10:48	0	21.0	34.02	8.0	0	0	0	0
		6.5	20.1	34.18	7.8	0	5	0	0
3.小田代	10:01	0	21.6	32.47	8.1	0	1	0	0
		10	19.9	34.20	7.7	0	127	0	0
4.沖松浦漁港	10:17	0	21.5	33.22	8.1	0	7	1,120	0
		2	20.9	33.87	8.2	0	10	90	0
		5	20.5	34.02	8.2	0	46	40	0
		7	20.2	34.11	7.9	0	269	40	0
5.鶴見振興局裏	10:21	0	22.1	31.83	8.5	0	1	520	0
		8	20.1	34.15	7.8	0	535	100	0
6.JF鶴見ポイント前	10:26	0	21.8	32.69	8.1	0	7	80	0
		7.8	20.1	34.16	7.9	0	135	70	0
7.石間	9:47	0	20.7	34.05	7.8	0	6	0	0
		7.5	19.9	34.20	7.7	0	78	0	0
8.守後	9:16	0	21.8	33.39	7.9	0	0	0	0
		8	20.1	34.17	7.6	0	49	0	0
9.霞ヶ浦	9:31	0	22.2	33.62	8.0	0	0	10	0
		8.5	20.1	34.19	7.5	0	143	20	0
10.片神	9:06	0	21.6	33.17	8.0	0	0	0	0
		7	20.1	34.17	7.7	0	80	0	0
11.水産試験場前	11:17	0	20.2	34.17	7.7	0	2	0	0
		5	19.9	34.22	7.7	0	3	0	0

参考: マグロ類における赤潮注意・警戒密度(単位:細胞数/ml)

赤潮プランクトン	注意密度	警戒密度
シャットネラspp.	1以上	10以上
ヘテロシグマ・アカシオ	500以上	5000以上
カレニア・ミキモイ	20以上	200以上
コクロデニウム・ホリウイコイデス	3以上	30以上

* 警戒密度は漁業被害が想定される密度です。
 * 魚の生理状態や環境条件等によって、上記警戒密度より低密度でも被害を引き起こす可能性があります。

連絡事項

有害プランクトンのカレニア・ミキモイおよびヘテロシグマ・アカシオが確認されました。

カレニア・ミキモイは、広範囲で注意密度を超え、特に沖松浦漁港および鶴見振興局裏で警戒密度を超え増殖しています。

魚介類の管理にはくれぐれも気をつけ

